

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費			
事業	事務事業名	スポーツ少年団活動補助金						担当部署	教育委員会		
	642	予算事業名	(スポーツ団体活動費)						課名	生涯学習・スポーツ課	
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度				電話	59 8093		
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施方法 (H26)		
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり								
施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進										
	根拠法令等	射水市補助金等交付規則									
事業目的	対象	補助金等交付先	射水市スポーツ少年団								
	意図	補助金等交付目的	スポーツを通じ青少年の健全な心身の育成に資する								
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名				
		%	31.0	29.7	29.7	28.5	スポーツ少年団登録者率 ( 小学4年生 ~ 6年生 )				
事業内容	手段	補助金等の交付を実施する主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単位団活動補助</li> <li>・指導者及び団員表彰</li> <li>・千曲市姉妹都市スポーツ交流</li> <li>・総合選手権大会</li> <li>・冬季スポーツレクリエーション大会</li> </ul>								
		活動指標	補助金等数	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名		
			件	1	1	1	1	補助金交付件数			
備考	その他説明を要する事項										
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項				
	直接事業費 ( 補助金等交付額 )		2,580	2,450	2,490	2,380					
	( 当初予算額 )		( 2,580 )	( 2,450 )	( 2,490 )						
	うち臨時職員人件費										
	財源内訳	国・県支出金									
		地方債									
その他											
一般財源		2,580	2,450	2,490	2,380						
個別評価	評価項目		説明								
	妥当性 ( a ~ c )	a	少年スポーツ活動の大きな役割を担っており、市内の小中学生を対象としている。								
	有効性 ( a ~ c )	a	本活動を通じて、運動による体力の向上や、団体活動による協調性が育まれる等、青少年の心身の健全な育成に効果がある。								
	効率性 ( a ~ c )	b	事務局に一括交付することにより、効率的に補助することができる。一方、事務局について、国・県では、日本体育協会・県体育協会が事務局を担っていることから、本市における事務局の主体について検討を要する。								
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	B	事業の一部に見直しが必要				評価結果 ( A ~ C )				
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等						総合評価 ( 2 次評価 ) 評価委員会のコメント			
	廃止・休止										
	規模縮小	事業内容については、引き続き、姉妹都市交流事業や冬季レクリエーション大会を実施することにより、スポーツを通じた団員相互の交流を深めるとともに、運動による体力の向上や、団体活動による協調性の育成等、青少年の心身の健全育成を図ることとする。									
	統合・連携	事務局体制について、国・県や他市の状況を調査し、適正な主体を検討することとする。									
	民間活用										
	負担適正化										
	やり方改善										
現行どおり											
拡充											

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費					
事業	事務事業名	スポーツ少年団活動補助金				担当部名	教育委員会			
642	予算事業名	(スポーツ団体活動費)				課名	生涯学習・スポーツ課			
						電話	59 8093			
評価項目	評価の視点	内容(該当は、非該当は×) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない(妥当性をaとする)							判定	
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。								
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。								
	受益者・費用負担	事業内容(手段)の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。								
有効性	政策体系との整合性	事業の成果(意図)が、上位施策の目標達成に結びついている(貢献している)。								
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。								
	成果の向上余地	事業内容(手段)を工夫しても、成果を向上させる余地はない。							×	
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。								
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。								
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。								
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。							×	
評価結果	個別評価(a~c)	妥当性	有効性	効率性	総合評価(A~C)	評価結果				
		a 適合	a 適合	b やや適合	B	事業の一部に見直しが必要				

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
		定額		算定方法	予算の範囲内で交付			
		定率						
		その他						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数	1件	1件	1件	1件		なし(市単独補助)	
	補助金等交付額	2,580千円	2,450千円	2,490千円	2,380千円		国補助( % )	
	うち一般財源	2,580千円	2,450千円	2,490千円	2,380千円		県補助( % )	
交付団体状況	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制	項目	
	交付先歳入決算額	4,283千円	4,104千円	4,677千円			非該当・事務局なし	
	補助金の占める割合	60.2 %	59.7 %	53.2 %			担当課が主体	
	交付先歳出決算額	3,944千円	3,697千円	4,257千円			交付団体が主体	
	次年度繰越額	339千円	407千円	420千円			その他	
	歳出に占める割合	8.6 %	11.0 %	9.9 %			↳ ( )	
事業目的	対象	射水市スポーツ少年団					法人会員数	54 団体
	意図	スポーツを通じ青少年の健全な心身の育成に資する						個人会員数
事業内容	手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単位団活動補助</li> <li>指導者及び団員表彰</li> <li>千曲市姉妹都市スポーツ交流</li> <li>総合選手権大会</li> <li>冬季スポーツレクリエーション大会</li> </ul>						
	補助金等の受け取る実施する主な活動							

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費			
事業	事業名	競技団体、地区(校下)活動補助金					担当部署	部名	教育委員会		
	643	予算事業名	(スポーツ団体活動費)					課名	生涯学習・スポーツ課		
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度			電話	59 8093			
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち					実施方法 (H26)			
		政策(章)	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり								
		施策(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進								
根拠法令等	射水市補助金等交付規則										
事業目的	対象	補助金等交付先	(公財)射水市体育協会								
	意図	補助金等交付目的	体育・スポーツ団体の強化及び運営補助								
成果指標	事業目的(意図)を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名				
		団体	30	30	31	31	加盟競技団体数				
		人	5,299	5,335	5,454	5,500	加盟競技団体会員数				
事業内容	手段	補助金等受ける実施する活動	・スポーツの振興のため、(公財)射水市体育協会に加盟する競技団体並びに地区・校下体育団体の活動を助成する。								
		活動指標	補助金等交付件数	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名		
			件	1	1	1	1	補助金交付件数			
備考	その他説明を要する事項										
事業コスト	項目(単位:千円)		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項				
	直接事業費(補助金等交付額)		5,300	5,300	5,300	5,350					
	(当初予算額)		(5,300)	(5,300)	(5,300)						
	うち臨時職員人件費										
	財源内訳	国・県支出金									
		地方債									
その他一般財源		5,300	5,300	5,300	5,350						
個別評価	評価項目		説明								
	妥当性(a-c)	a	競技団体並びに地区体育団体に広く活動助成することにより市民のスポーツの振興・普及につながる。								
	有効性(a-c)	a	市民のスポーツの振興・普及に努めることにより、青少年の健全育成や市民の健康保持増進並びに地域の一体感・活力の醸成につながる。								
	効率性(a-c)	a	市体育協会に一括交付し、市体育協会から加盟団体に配分していることから、事務の軽減が図られている。								
総合評価(1次評価)	評価結果(A-C)	A	現行どおり事業を進めることが適当				評価結果(A-C)				
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					総合評価(2次評価)				
	廃止・休止	競技団体、地区・校下体育協会がそれぞれ自主的に活動していることから引き続き、活動助成することにより、スポーツに親しむ環境の充実に図ることができる。					評価委員会のコメント				
	規模縮小										
	統合・連携										
	民間活用										
	負担適正化										
	やり方改善										
現行どおり											
拡充											

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費			
事業	事務事業名	競技団体、地区(校下)活動補助金				担当部名	教育委員会	
	643 予算事業名	(スポーツ団体活動費)				課名	生涯学習・スポーツ課	
評価項目	評価の視点	内容(該当は、非該当は×) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない(妥当性をaとする)					電話	59 8093
	妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					判定
有効性	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。						
	受益者・費用負担	事業内容(手段)の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。						
	政策体系との整合性	事業の成果(意図)が、上位施策の目標達成に結びついている(貢献している)。						
効率性	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。						
	成果の向上余地	事業内容(手段)を工夫しても、成果を向上させる余地はない。						×
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。						
評価結果	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。					総合評価 (A~C)	A
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。					評価結果	現行どおり事業を進めることが適当
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。						
個別評価 (a~c)	妥当性	a 適合	有効性	a 適合	効率性	a 適合		

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
		定額	算定方法	予算の範囲内で交付				
		定率						
		その他						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件		なし(市単独補助)	
	補助金等交付額	5,300 千円	5,300 千円	5,300 千円	5,350 千円		国補助( % )	
	うち一般財源	5,300 千円	5,300 千円	5,300 千円	5,350 千円		県補助( % )	
交付団体状況	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制	項目	
	交付先歳入決算額	94,358 千円	125,455 千円	130,419 千円			非該当・事務局なし	
	補助金の占める割合	5.6 %	4.2 %	4.1 %			担当課が主体	
	交付先歳出決算額	94,358 千円	125,455 千円	130,419 千円			交付団体が主体	
	次年度繰越額	0 千円	0 千円	0 千円			その他	
	歳出に占める割合	0.0 %	0.0 %	0.0 %			↳ ( )	
事業目的	対象	(公財)射水市体育協会					法人会員数	58 団体
	意図	体育・スポーツ団体の強化及び運営補助					個人会員数	人
事業内容	手段	・スポーツの振興のため、(公財)射水市体育協会に加盟する競技団体並びに地区・校下体育団体の活動を助成する。						
	補助金等の受け手							

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費		
事業	事業名	富山県駅伝競走大会選手派遣補助金						担当部署	教育委員会	
	644	予算事業名	( スポーツ団体活動費 )						課名	生涯学習・スポーツ課
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度				電話	59 8093	
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施方法 (H26)	
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり							
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進							
根拠法令等	射水市補助金等交付規則									
事業目的	補助金等交付先	( 公財 ) 射水市体育協会								
	補助金等交付目的	富山県駅伝競走大会・富山県小学生駅伝競走大会に選手を派遣し、競技力の向上並びに選手の一体感の醸成を図る。								
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		順位	3	2	6	-	富山県駅伝競走大会順位 ( 参加 10 市・2 郡中 )			
		順位	4	10	11	-	富山県小学生駅伝競走大会順位 ( 参加 10 市・2 郡中 )			
事業内容	手段	補助金等を用いて実施する活動 富山県駅伝競走大会・富山県小学生駅伝競走大会選手派遣								
活動指標	補助金等交付件数	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		件	1	1	1	1	補助金交付件数			
備考	その他説明を要する事項									
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項			
	直接事業費 ( 補助金等交付額 )		320	420	420	400				
	( 当初予算額 )		( 320 )	( 420 )	( 420 )					
	うち臨時職員人件費									
	財源内訳	国・県支出金								
		地方債								
その他一般財源		320	420	420	400					
個別評価	評価項目		説明							
	妥当性 ( a ~ c )	a	選手派遣の補助することにより競技力の向上を図ることができる。							
	有効性 ( a ~ c )	a	競技力の向上とともに選手間の交流を深め、一体感の醸成を図ることができる。							
	効率性 ( a ~ c )	a	( 公財 ) 射水市体育協会に補助し、体協並びに陸上競技協会が事業を実施することから、事務の軽減が図られている。							
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	A	現行どおり事業を進めることが適当				評価結果 ( A ~ C )			
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等				評価委員会のコメント				
	廃止・休止	現行どおりとすることにより、引き続き競技力の向上と効率的な大会参加に努める。								
	規模縮小									
	統合・連携									
	民間活用									
	負担適正化									
	やり方改善									
現行どおり										
拡充					総合評価 ( 2 次評価 )					

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費		
事業	事務事業名	富山県駅伝競走大会選手派遣補助金				担当	教育委員会
644	予算事業名	( スポーツ団体活動費 )				課名	生涯学習・スポーツ課
					電話	59 8093	
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )					判定
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。					
	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。					
有効性	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。					
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。					
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。					×
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。					
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。					
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。					
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。					
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	有効性	効率性	総合評価 ( A ~ C )	評価結果	
		a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当	

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
		定額		算定方法	予算の範囲内で交付			
		定率						
		その他						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件		なし ( 市単独補助 )	
	補助金等交付額	320 千円	420 千円	420 千円	400 千円		国補助 ( % )	
	うち一般財源	320 千円	420 千円	420 千円	400 千円		県補助 ( % )	
交付団体状況	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制	項目	
	交付先歳入決算額	423 千円	542 千円	499 千円			非該当・事務局なし	
	補助金の占める割合	75.7 %	77.5 %	84.2 %			担当課が主体	
	交付先歳出決算額	423 千円	542 千円	499 千円			交付団体が主体	
	次年度繰越額	0 千円	0 千円	0 千円			その他	
	歳出に占める割合	0.0 %	0.0 %	0.0 %			↳ ( )	
事業内容	対象	( 公財 ) 射水市体育協会					法人会員数	団体
	意図	富山県駅伝競走大会・富山県小学生駅伝競走大会に選手を派遣し、競技力の向上並びに選手の一体感の醸成を図る。					個人会員数	人
手段	補助金等の受け実施する主な活動	富山県駅伝競走大会・富山県小学生駅伝競走大会選手派遣						

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費		
事業	事業名	姉妹都市等スポーツ団体交流事業補助金						担当部署	教育委員会	
	645	予算事業名	( スポーツ団体活動費 )						課名	生涯学習・スポーツ課
基本事項	事業期間	開始年度	平成 18 年度	終了年度				電話	59 8093	
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施方法 (H26)	
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり							
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進							
根拠法令等	射水市姉妹都市等スポーツ団体交流事業補助金交付要綱									
事業目的	対象	補助金等交付先 (公財)射水市体育協会に加盟する団体かつ市長が認める団体								
	意図	補助金等交付目的 姉妹都市等とのスポーツ交流事業をとおして、両市の友好関係を促進する								
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		人	63	13	85	100	交流事業参加者数			
事業内容	手段	補助金等を受ける実施する活動								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流試合の開催</li> <li>・施設見学、体験会等交流会の開催</li> </ul>								
活動指標	補助金等数	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		件	2	1	2	3	補助金交付件数			
備考	その他説明を要する事項									
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項			
	直接事業費 ( 補助金等交付額 )		140	70	140	210				
	( 当初予算額 )		( 210 )	( 210 )	( 210 )					
	うち臨時職員人件費									
	財源内訳	国・県支出金								
		地方債								
その他一般財源		140	70	140	210					
個別評価	評価項目		説明							
	妥当性 ( a ~ c )	<b>b</b>	交付対象団体を市体育協会に加盟する団体としており、各競技を対象とすることができることから公平性が保たれている。また、事業費に対する補助割合が低い。ただし、利用団体が少ないことから事業の利用促進を図る必要がある。							
	有効性 ( a ~ c )	<b>a</b>	スポーツ活動を通じて、姉妹都市等との交流を深めることができる。							
	効率性 ( a ~ c )	<b>a</b>	補助することにより競技団体が主体となって事業を実施している。							
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	<b>B</b>	事業の一部に見直しが必要				総合評価 ( 2 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	<b>B</b>	事業の一部に見直しが必要
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等						評価委員会のコメント		
	廃止・休止	スポーツ活動を通じた交流促進は取り組みやすく、姉妹都市間の友好の発展にも効果的であることから、今後、事業のPRに努め、一層の利用促進を図る必要がある。						次の2事業を一括して評価 「姉妹都市交流事業補助金」 「姉妹都市等スポーツ団体交流事業補助金」  両事業を姉妹都市交流事業補助金へ一本化するとともに、市内団体等への周知に努めること。		
	規模縮小									
	統合・連携									
	民間活用									
	負担適正化									
	やり方改善									
現行どおり										
拡充										



10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費		
事業	事務事業名	スポーツ行事推進費						担当	部名	教育委員会
	646	予算事業名	( スポーツ行事推進費 )						課名	生涯学習・スポーツ課
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度				電話	5 9 8 0 9 3	
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施方法 (H26)	業務委託
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり							一部業務委託
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進							市直営
根拠法令等										
事業目的	対象	誰を・何を	全市民							
	意図	どのような状態に	市内で開催されるスポーツ行事を奨励し、市民のスポーツ活動の参加機会の増大や、心身の健康の保持増進を図る。							
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		人	763,934	759,657	814,830	820,000	スポーツ施設の年間延べ利用者数			
事業内容	手段	どのような方法で	市内で開催されるスポーツ行事を奨励し、市民のスポーツ活動の参加機会の増大や心身の健康の保持増進を図る。 ・富山県ちびっ子相撲大会の射水市共催 ・市民体育大会、県民体育大会選手派遣、元旦マラソン大会開催委託 ・市スポーツ推進委員協議会への体力測定やラジオ体操講習会開催委託 ・県民スポレク祭の射水市会場使用料負担等							
			単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名		
活動指標	事業内容 ( 手段 ) の活動量・量を提示する	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		人	10,000	9,000	7,500	8,000	市民体育大会参加者数			
備考	その他説明を要する事項									
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項			
	直接事業費		3,434	3,838	4,139	4,722				
	( 当初予算額 )	( 3,435 )	( 3,903 )	( 4,139 )						
	うち臨時職員人件費									
	財源内訳	国・県支出金								
		地方債								
その他一般財源			3,434	3,838	4,139	4,722				
個別評価	評価項目		説明							
	妥当性 ( a ~ c )	a	市民体育大会の開催や県民体育大会の選手派遣等、スポーツ行事を奨励することで、市民のスポーツに親しむ環境の充実につながる。							
	有効性 ( a ~ c )	b	市民体育大会の開催や県民体育大会の選手派遣、マラソン大会の開催等により市民スポーツの推進を図り、市民の心身の健康の保持増進につながる。							
	効率性 ( a ~ c )	b	市民体育大会の開催等、市体育協会に委託することで事務の軽減が図られている。しかし、元旦マラソンについて2地区で同日開催していることから開催方法や実施主体の見直しについて検討する必要がある。							
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	B	事業の一部に見直しが必要					総合評価 ( 2 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					評価委員会のコメント			
	廃止・休止	元旦マラソンについて2地区で同日開催していることから開催方法や実施主体の見直しについて検討する必要がある。								
	規模縮小									
	統合・連携									
	民間活用									
	負担適正化									
	やり方改善									
現行どおり										
拡充										

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費				
事業	事務事業名	スポーツ行事推進費				担当	教育委員会		
	646 予算事業名	(スポーツ行事推進費)				課名	生涯学習・スポーツ課		
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )						判定	
	妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。						
民間競合		民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。							
受益者・費用負担		事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。							
有効性	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。							
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。							×
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。							×
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。							
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。							
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。							
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。							×
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	有効性	効率性	総合評価 ( A ~ C )	評価結果			
		a 適合	b やや適合	b やや適合		B	事業の一部に見直しが必要		

性質	交付先区分		類型区分					
	補助区分		算定方法					
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数							
	補助金等交付額							
交付団体状況	うち一般財源					事務局体制	項目	
	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算			
	交付先歳入決算額							
	補助金の占める割合							
	交付先歳出決算額							
事業目的	次年度繰越額					法人会員数		
	歳出に占める割合						個人会員数	
事業内容	団体構成員負担							
	対象	誰を・何を						
事業内容	意図	どのような状態に						
	手段	どのような方法で						

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費		
事業	事業名	太閤山相撲大会開催補助金						担当部署	教育委員会	
	649	予算事業名	( スポーツ行事推進費 )						課名	生涯学習・スポーツ課
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度				電話	59 8093	
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施方法 (H26)	
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり							
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進							
根拠法令等	射水市補助金等交付規則									
事業目的	対象	補助金等交付先	射水市相撲連盟							
	意図	補助金等交付目的	太閤山相撲大会開催運営費補助							
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		人	170	120	90	100	大会参加選手数			
事業内容	手段	補助金等を受ける実施する活動	太閤山相撲大会の開催							
		活動指標	補助金等数	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名	
備考	その他説明を要する事項	件	1	1	1	1	補助金交付件数			
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項			
	直接事業費 ( 補助金等交付額 )		180	180	180	170				
	( 当初予算額 )		( 180 )	( 180 )	( 180 )					
	うち臨時職員人件費									
	財源内訳	国・県支出金								
		地方債								
その他										
一般財源		180	180	180	170					
個別評価	評価項目		説明							
	妥当性 ( a ~ c )	a	市内の各小学校から参加者を募集して開催していることから公平性が保たれている。また、市相撲連盟の負担金を合わせて開催し、歴史ある行事の継承につながっている。							
	有効性 ( a ~ c )	a	相撲は、相手を敬い礼節を重んじることから、子供たちの心身の健全な育成に有効である。							
	効率性 ( a ~ c )	a	市民体育大会と県体個人の予選を兼ねて開催し、競技団体が主体となって大会を運営している。							
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	A	現行どおり事業を進めることが適当				評価結果 ( A ~ C )			
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					評価委員会のコメント			
	廃止・休止	市内の各小学校から参加者を募集して開催し、歴史ある行事の継承につながっていることと、相撲は相手を敬い、礼節を重んじることから、子供たちの心身の健全な成長に有効であり、市相撲連盟も負担金を拠出し開催している。								
	規模縮小									
	統合・連携									
	民間活用									
	負担適正化									
	やり方改善									
現行どおり										
拡充										
総合評価 ( 2 次評価 )										

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費			
事業	事務事業名	太閤山相撲大会開催補助金				担当	教育委員会	
	649 予算事業名	( スポーツ行事推進費 )				課名	生涯学習・スポーツ課	
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )					電話	5 9 8 0 9 3
	妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					判定
有効性	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。						
	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。						
	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。						
効率性	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。						
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。						
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。						
評価結果	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。					総合評価 ( A ~ C )	A
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。						
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。						
個別評価 ( a ~ c )	妥当性	a 適合	有効性	a 適合	効率性	a 適合	評価結果	現行どおり事業を進めることが適当

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
		定額	算定方法	予算の範囲内で交付				
		定率						
		その他						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件		なし ( 市単独補助 )	
	補助金等交付額	180 千円	180 千円	180 千円	170 千円		国補助 ( % )	
	うち一般財源	180 千円	180 千円	180 千円	170 千円		県補助 ( % )	
交付団体状況	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制	項目	
	交付先歳入決算額	291 千円	284 千円	325 千円			非該当・事務局なし	
	補助金の占める割合	61.9 %	63.4 %	55.4 %			担当課が主体	
	交付先歳出決算額	291 千円	284 千円	325 千円			交付団体が主体	
	次年度繰越額	0 千円	0 千円	0 千円			その他	
	歳出に占める割合	0.0 %	0.0 %	0.0 %			↳ ( )	
事業目的	対象	射水市相撲連盟					法人会員数	個人会員数
	意図	太閤山相撲大会開催運営費補助						
事業内容	手段	太閤山相撲大会の開催						

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費		
事業	事業名	全国パークゴルフ交流大会in射水開催補助金						担当	部名	教育委員会
	650	予算事業名	( スポーツ行事推進費 )						課名	生涯学習・スポーツ課
基本事項	事業期間	開始年度	平成 19 年度	終了年度				電話	59 8093	
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施 方 法 (H26)	
		政策(章)	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり							
		施策(節)	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進							
根拠法令等	射水市補助金等交付規則									
事業目的	対象	補助金等 交付先	射水市パークゴルフ協会							
	意図	補助金等 交付目的	全国パークゴルフ交流大会をとおして、楽しさを共有しながら、友好の輪を広げ、パークゴルフの健全な普及と発展を図る。							
成果指標	事業目的 (意図)を 達成する 指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		人	596	410	424	450	大会参加選手数			
事業内容	手段	補助金等 の受ける 実施する 活動	全国パークゴルフ交流大会in射水の開催 H24は、NPGA杯全日本パークゴルフ大会2012と兼ねた大会							
		活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名		
備考	その他説明を 要する事項	補助金等 交付件数	件	1	1	1	1	補助金交付件数		
		事業コスト	項目(単位:千円)	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項		
事業コスト	財源内訳	直接事業費 (補助金等交付額)	1,500	1,000	1,000	970				
		(当初予算額)	(1,500)	(1,000)	(1,000)					
		うち臨時職員人件費								
		国・県支出金								
		地方債								
		その他								
		一般財源	1,500	1,000	1,000	970				
個別評価	評価項目		説明							
	妥当性 (a~c)	a	市内の多くのパークゴルフ愛好者を始め県内外から参加するパークゴルフ大会の開催を支援することにより、パークゴルフの健全な普及、発展を図ることができる。							
	有効性 (a~c)	a	県内外から選手が参加することから、選手相互の交流を深めることにより、射水の魅力を県内外に発信することができる。							
	効率性 (a~c)	a	射水市パークゴルフ協会が主管となり運営している。							
総合評価 (1次評価)	評価結果 (A~C)	A	現行どおり事業を進めることが適当					評価結果 (A~C)		
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等						評価委員会のコメント		
	廃止・休止	「パークゴルフの里 射水」として全国にPRする絶好の機会であり、県内外から参加する選手の交流を深めるとともに、競技力の向上並びに市民の健康保持増進につながることから現行どおりとする。								
	規模縮小									
	統合・連携									
	民間活用									
	負担適正化									
	やり方改善									
現行どおり										
拡充										
総合評価 (2次評価)										

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費			
事業	事務事業名	全国パークゴルフ交流大会 in 射水開催補助金				担当	教育委員会	
	650 予算事業名	(スポーツ行事推進費)				課名	生涯学習・スポーツ課	
評価項目	評価の視点	内容 (該当は、非該当は×) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない (妥当性を a とする)					電話	59 8093
	妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					判定
有効性	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。						
	受益者・費用負担	事業内容 (手段) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。						
	政策体系との整合性	事業の成果 (意図) が、上位施策の目標達成に結びついている (貢献している)。						
効率性	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。						
	成果の向上余地	事業内容 (手段) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。						
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。						
評価結果	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 (手段) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。					総合評価 (A ~ C)	A
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 (手段) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。						現行どおり事業を進めることが適当
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。						
個別評価 (a ~ c)	妥当性	a 適合	有効性	a 適合	効率性	a 適合	評価結果	

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
		定額	算定方法	予算の範囲内で交付				
		定率						
		その他						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件		なし (市単独補助)	
交付団体状況	補助金等交付額	1,500 千円	1,000 千円	1,000 千円	970 千円	事務局体制	国補助 ( % )	
	うち一般財源	1,500 千円	1,000 千円	1,000 千円	970 千円		県補助 ( % )	
交付団体状況	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制	項目	
	交付先歳入決算額	6,845 千円	2,207 千円	2,240 千円			非該当・事務局なし	
交付団体状況	補助金の占める割合	21.9 %	45.3 %	44.6 %		事務局体制	担当課が主体	
	交付先歳出決算額	6,845 千円	2,207 千円	2,240 千円			交付団体が主体	
交付団体状況	次年度繰越額	0 千円	0 千円	0 千円		事務局体制	その他	
	歳出に占める割合	0.0 %	0.0 %	0.0 %			↳ ( )	
事業目的	対象	射水市パークゴルフ協会					法人会員数	団体
	補助金等交付先							
事業内容	意図	全国パークゴルフ交流大会をとおり、楽しさを共有しながら、友好の輪を広げ、パークゴルフの健全な普及と発展を図る。						
	事業内容	手段	全国パークゴルフ交流大会 in 射水の開催 H24は、NPGA杯全日本パークゴルフ大会2012と兼ねた大会					
事業内容		補助金等を受け実施する主な活動						

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費			
事業	事業名	全国パークゴルフ選手権大会開催補助金						担当部署	部名	教育委員会	
	651	予算事業名	( スポーツ行事推進費 )						課名	生涯学習・スポーツ課	
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度			電話	5 9 8 0 9 3			
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち					実施方法 (H26)			
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり								
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進								
根拠法令等	射水市補助金等交付規則										
事業目的	対象	補助金等交付先	ミズノカップ全国パークゴルフ大会実行委員会								
	意図	補助金等交付目的	全国のパークゴルフ愛好者の親睦と交流を図り、併せてパークゴルフの普及・振興を目的とする。								
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名				
		人	211	179	157	200	大会参加選手数				
事業内容	手段	補助金等を受ける実施する活動	ミズノカップ全国パークゴルフ選手権大会の開催								
		活動指標	補助金等交付件数	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名		
			件	1	1	1	1	補助金等交付件数			
備考	その他説明を要する事項										
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項				
	直接事業費 ( 補助金等交付額 )		200	200	200	180					
	( 当初予算額 )		( 200 )	( 200 )	( 200 )						
	うち臨時職員人件費										
	財源内訳	国・県支出金									
		地方債									
その他											
一般財源		200	200	200	180						
個別評価	評価項目		説明								
	妥当性 ( a ~ c )	a	市内パークゴルフ愛好者を始め全国から参加するパークゴルフ大会の開催を支援することにより、競技力の向上とパークゴルフの普及発展につながる。								
	有効性 ( a ~ c )	a	県内外から選手が参加することから、射水の魅力を県内外に発信することができる。								
	効率性 ( a ~ c )	a	実行委員が主管となり開催し、補助金比率も 5 % 前後と低い。								
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	A	現行どおり事業を進めることが適当					評価結果 ( A ~ C )			
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					評価委員会のコメント				
	廃止・休止	「パークゴルフの里 射水」として全国に P R する絶好の機会であり、選手権大会として開催されることから競技力の向上と競技の普及発展につながる。									
	規模縮小										
	統合・連携										
	民間活用										
	負担適正化										
	やり方改善										
現行どおり											
拡充	総合評価 ( 2 次評価 )										

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費			
事業	事務事業名	全国パークゴルフ選手権大会開催補助金				担当	教育委員会	
	651 予算事業名	( スポーツ行事推進費 )				部名	生涯学習・スポーツ課	
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )					課名	生涯学習・スポーツ課
	妥当性	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					電話	59 8093
有効性	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。						
	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。						
	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。						
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。						
効率性	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。						
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。						
	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。						
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	有効性	効率性	総合評価 ( A ~ C )	評価結果		
		a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当		

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等
		定額	算定方法	予算の範囲内で交付		
		定率				
		その他				
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件	なし ( 市単独補助 )
	補助金等交付額	200 千円	200 千円	200 千円	180 千円	国補助 ( % )
	うち一般財源	200 千円	200 千円	200 千円	180 千円	県補助 ( % )
	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制
交付先歳入決算額	4,722 千円	4,302 千円	4,155 千円		非該当・事務局なし	
補助金の占める割合	4.2 %	4.6 %	4.8 %		担当課が主体	
交付先歳出決算額	4,681 千円	4,257 千円	4,155 千円		交付団体が主体	
次年度繰越額	41 千円	45 千円	0 千円		その他	
歳出に占める割合	0.9 %	1.1 %	0.0 %		↳ ( )	
事業内容	団体構成員	会費負担あり		会費負担なし		法人会員数
	会費負担	↳ ( 会費: 9,000円 )				個人会員数
対象	補助金等交付先	ミズノカップ全国パークゴルフ大会実行委員会				
事業目的	補助金等交付目的	全国のパークゴルフ愛好者の親睦と交流を図り、併せてパークゴルフの普及・振興を目的とする。				
事業内容	補助金等の受け実施する主な活動	ミズノカップ全国パークゴルフ選手権大会の開催				

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費								
事業	事業名	スポーツひのまるキッズ北信越小学生柔道大会開催補助金						担当	部名	教育委員会						
	652	予算事業名	( スポーツ行事推進費 )						課名	生涯学習・スポーツ課						
基本事項	事業期間	開始年度	平成 22 年度	終了年度				電話	59 8093							
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施方法 (H26)							
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり													
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進													
根拠法令等	射水市補助金等交付規則															
事業目的	対象	補助金等交付先	富山県柔道連盟													
	意図	補助金等交付目的	北信越地区を始め全国各地からの小学生とその親が参加し、少年柔道の発展と大会を通じての相互の交流、親睦を図るとともに、親子の絆をこれまで以上に深めることを目的とする。													
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名									
		人	566	400	511	600	大会参加選手数									
事業内容	手段	補助金等を交付して実施する活動	スポーツひのまるキッズ北信越小学生柔道大会の開催													
		活動指標	補助金等交付件数	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名							
備考	その他説明を要する事項	件	1	1	1	1	補助金交付件数									
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項									
	直接事業費 ( 補助金等交付額 )		200	800	900	900	平成25年度から競技会前日に有名講師を招いての前日練習会を開催する等、競技会以外の内容も充実して大会を開催している。									
	( 当初予算額 )		( 200 )	( 800 )	( 900 )											
	うち臨時職員人件費															
	財源内訳															
国・県支出金																
地方債																
その他																
一般財源		200	800	900	900											
個別評価	評価項目		説明													
	妥当性 ( a ~ c )	a	本大会は「親子の絆と柔道の本質」をテーマに開催されることから、参加する選手の親子の絆が深まるとともに競技力の向上につながる。													
	有効性 ( a ~ c )	a	県内外から選手が多く参加することから、射水の魅力を県内外に発信することができる。													
	効率性 ( a ~ c )	a	富山県柔道連盟が主管となり開催し、補助金比率も15%程度と低い。													
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	A	現行どおり事業を進めることが適当					評価結果 ( A ~ C )								
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					総合評価 ( 2 次評価 )									
	廃止・休止	本大会のテーマに基づいて、引き続き開催することにより、これまで以上に親子の絆を深め、競技力の向上につなげることができるとともに、北信越地区を始め全国各地から参加することから、射水の魅力を全国に発信することができる。										評価委員会のコメント				
	規模縮小															
	統合・連携															
	民間活用															
	負担適正化															
	やり方改善															
現行どおり																
拡充																

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費			
事業	事務事業名	スポーツひのまるキッズ北信越小学生柔道大会開催補助金				担当	教育委員会	
	652 予算事業名	(スポーツ行事推進費)				課名	生涯学習・スポーツ課	
評価項目	評価の視点	内容(該当は、非該当は×) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない(妥当性をaとする)					電話	59 8093
	妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					判定
有効性	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。						
	受益者・費用負担	事業内容(手段)の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。						
	政策体系との整合性	事業の成果(意図)が、上位施策の目標達成に結びついている(貢献している)。						
効率性	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。						
	成果の向上余地	事業内容(手段)を工夫しても、成果を向上させる余地はない。						
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。						
評価結果	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。					総合評価	A 現行どおり事業を進めることが適当
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。					(A~C)	
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。						
個別評価(a~c)	妥当性	a 適合	有効性	a 適合	効率性	a 適合	評価結果	

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
		定額	算定方法	予算の範囲内で交付				
		定率						
		その他						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数	1件	1件	1件	1件		なし(市単独補助)	
交付団体状況	補助金等交付額	200千円	800千円	900千円	900千円	事務局体制	国補助( % )	
	うち一般財源	200千円	800千円	900千円	900千円		県補助( % )	
事業目的	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	法人会員数	項目	
	交付先歳入決算額	4,702千円	6,235千円	5,935千円			非該当・事務局なし	
事業内容	補助金の占める割合	4.3%	12.8%	15.2%		個人会員数	担当課が主体	
	交付先歳出決算額	4,702千円	6,235千円	5,935千円			交付団体が主体	
手段	次年度繰越額	0千円	0千円	0千円		団体	その他	
	歳出に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%			↳ ( )	
対象	補助金等交付先	富山県柔道連盟					会費負担あり	会費負担なし
意図	補助金等交付目的	北信越地区を始め全国各地からの小学生とその親が参加し、少年柔道の発展と大会を通じての相互の交流、親睦を図るとともに、親子の絆をこれまで以上に深めることを目的とする。					↳ (会費: 3,000円)	
手段	補助金等を受け実施する主な活動	スポーツひのまるキッズ北信越小学生柔道大会の開催					法人会員数	511人

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費			
事業	事務事業名	富山県駅伝競走大会開催補助金						担当部署	教育委員会		
	653	予算事業名	( スポーツ行事推進費 )						課名	生涯学習・スポーツ課	
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度				電話	59 8093		
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施方法 (H26)		
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり								
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進								
根拠法令等	射水市補助金等交付規則										
事業目的	対象	補助金等交付先	富山県駅伝競走大会								
	意図	補助金等交付目的	富山県駅伝競走大会の開催を支援することにより、市民のスポーツに対する意識の高揚を図る。								
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名				
		チーム	12	12	12	12	富山県駅伝競走大会参加チーム数				
		チーム	12	12	12	12	富山県小学生駅伝競走大会参加チーム数				
事業内容	手段	補助金等受ける実施する活動	富山県駅伝競走大会開催								
		活動指標	補助金等数	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名		
		件	1	1	1	1	補助金交付件数				
備考	その他説明を要する事項										
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項				
	直接事業費 ( 補助金等交付額 )		200	200	300	300					
	( 当初予算額 )		( 200 )	( 200 )	( 300 )						
	うち臨時職員人件費										
	財源内訳	国・県支出金									
		地方債									
その他											
一般財源		200	200	300	300						
個別評価	評価項目		説明								
	妥当性 ( a ~ c )	a	市民のスポーツ意識の高揚を図り、連帯感あふれる地域づくりにつながる。								
	有効性 ( a ~ c )	a	本市を通過するコースとする駅伝競走大会を開催することからスポーツ意識の高揚と競技力の向上につながる。								
	効率性 ( a ~ c )	a	県内全市が補助しており、補助金額の見直しの余地がない。								
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	A	現行どおり事業を進めることが適当				総合評価 ( 2 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )			
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等						評価委員会のコメント			
	廃止・休止	県民あげての大会となっており、全市が補助している。									
	規模縮小										
	統合・連携										
	民間活用										
	負担適正化										
	やり方改善										
現行どおり											
拡充											

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費		
事業	事務事業名	富山県駅伝競走大会開催補助金				担当	教育委員会
653	予算事業名	( スポーツ行事推進費 )				課名	生涯学習・スポーツ課
					電話	59 8093	
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )					判定
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。					
	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。					
有効性	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。					
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。					
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。					
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。					
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。					
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。					
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。					
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	有効性	効率性	総合評価 ( A ~ C )	評価結果	
		a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当	

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
		定額		算定方法	予算の範囲内で交付			
		定率						
		その他						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件		なし ( 市単独補助 )	
	補助金等交付額	200 千円	200 千円	300 千円	300 千円		国補助 ( % )	
	うち一般財源	200 千円	200 千円	300 千円	300 千円		県補助 ( % )	
交付団体状況	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制	項目	
	交付先歳入決算額	8,888 千円	8,682 千円	8,684 千円			非該当・事務局なし	
	補助金の占める割合	2.3 %	2.3 %	3.5 %			担当課が主体	
	交付先歳出決算額	8,888 千円	8,682 千円	8,684 千円			交付団体が主体	
	次年度繰越額	0 千円	0 千円	0 千円			その他	
	歳出に占める割合	0.0 %	0.0 %	0.0 %			↳ ( )	
事業目的	対象	富山県駅伝競走大会					法人会員数	12 団体
	意図	富山県駅伝競走大会の開催を支援することにより、市民のスポーツに対する意識の高揚を図る。						個人会員数
事業内容	手段	富山県駅伝競走大会開催						
	補助金等の受け実施する主な活動							
	団体構成員	会費負担あり		会費負担なし				
	会費負担	↳ ( 会費: )						

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費		
事業	事務事業名	スポーツ強化育成費						担当部署	教育委員会	
	656	予算事業名	( スポーツ強化育成費 )						課名	生涯学習・スポーツ課
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度				電話	59 8093	
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施方法 (H26)	業務委託
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり							一部業務委託
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進							市直営
根拠法令等										
事業目的	対象	誰を・何を	全市民							
	意図	どのような状態に	全国や国際大会において優秀な成績を収めた選手に報償金の贈呈や懸垂幕等を設置し、選手の功労を称えらるとともに市民に周知する。							
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		件	7	4	7	16	褒賞金交付件数			
事業内容	手段	どのような方法で	全国や国際大会において優秀な成績を収めた選手に報奨金の贈呈や懸垂幕等を設置し、選手の功労を称えらるとともに市民に周知する。							
	活動指標	事業内容 ( 手段 ) の活動量・量を提示	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名		
備考	その他説明を要する事項	件	7	4	7	16	褒賞金交付件数			
		件	3	3	1	2	懸垂幕設置件数			
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項			
	直接事業費		296	207	212	324				
	( 当初予算額 )		( 446 )	( 508 )	( 454 )					
	うち臨時職員人件費									
	財源内訳									
	国・県支出金									
地方債										
その他										
一般財源		296	207	212	324					
個別評価	評価項目		説明							
	妥当性 ( a ~ c )	a	本市のスポーツ振興及び競技力の向上に資するため、国際的・全国的スポーツ大会において優秀な成績を収めた選手または団体の功績を称えるために行っている。							
	有効性 ( a ~ c )	a	成績優秀者を称えることで更なる競技力向上と市民に夢と感動を与えることにつながる。							
効率性 ( a ~ c )	a	対象者を射水市スポーツ大会出場激励金交付要綱に定める補助金の支給を受けたものとし、金額も大会規模に応じて定めている。								
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	A	現行どおり事業を進めることが適当					評価結果 ( A ~ C )		
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					評価委員会のコメント			
	廃止・休止	現行どおり実施することにより、競技力の向上と市民に夢と感動を与えることにつながる。								
	規模縮小									
	統合・連携									
	民間活用									
	負担適正化									
	やり方改善									
現行どおり										
拡充										
総合評価 ( 2 次評価 )										

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費			
事業	事務事業名	スポーツ強化育成費				担当	教育委員会	
	656 予算事業名	( スポーツ強化育成費 )				課名	生涯学習・スポーツ課	
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )					電話	5 9 8 0 9 3
	妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					判定
有効性	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。						
	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。						
	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。						
効率性	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。						
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。						×
事業継続による影響	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。						
	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。						
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。						
実施主体見直し余地	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。						
	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	有効性	効率性	総合評価 ( A ~ C )	評価結果		
評価結果	a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当			

性質	交付先区分					類型区分		
	補助区分					算定方法		
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数							
	補助金等交付額							
交付団体状況	うち一般財源					事務局体制	項目	
	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算			
	交付先歳入決算額							
	補助金の占める割合							
	交付先歳出決算額							
事業目的	対象	誰を・何を					法人会員数	個人会員数
	意図	どのような状態に						
事業内容	手段	どのような方法で						

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費		
事業	事務事業名	スポーツ選手強化育成事業補助金						担当部署	教育委員会	
	657	予算事業名	( スポーツ行事推進費 )						課名	生涯学習・スポーツ課
基本事項	事業期間	開始年度	平成 23 年度	終了年度				電話	59 8093	
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち						実施方法 (H26)	
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり							
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進							
根拠法令等	射水市スポーツ選手強化育成事業補助金交付要綱									
事業目的	対象	補助金等交付先	射水市体育協会加盟団体、総合型地域スポーツクラブ、その他教育委員会が認めた団体							
	意図	補助金等交付目的	市内スポーツ選手の強化及び技術力向上に期するため							
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
		団体	6	7	5	8	補助金の交付を受けて強化練習、遠征、合宿を実施した団体数			
事業内容	手段	補助金等受ける実施する活動	選手強化育成及び競技力向上に資する強化練習、遠征、合宿の実施							
		活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名		
備考	その他説明を要する事項	補助金等数	件	6	7	5	8	補助金交付件数		
		事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項		
事業コスト	財源内訳	直接事業費 ( 補助金等交付額 )	900	1,050	750	2,000				
		( 当初予算額 )	( 1,500 )	( 1,500 )	( 1,500 )					
		うち臨時職員人件費								
		国・県支出金								
		地方債								
その他										
一般財源	900	1,050	750	2,000						
個別評価	評価項目	説明								
	妥当性 ( a ~ c )	b	市内スポーツ選手の強化育成、技術力向上を図るための補助事業であり適当である。							
	有効性 ( a ~ c )	a	市内スポーツ選手を強化育成、技術力向上を図り、成績向上につなげる。							
	効率性 ( a ~ c )	b	( 公財 ) 射水市体育協会においても選手強化を図る類似事業があることから、統合することができないか検討を要する。							
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	B	事業の一部に見直しが必要						評価結果 ( A ~ C )	
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等						総合評価 ( 2 次評価 )		
	廃止・休止	事業内容については、選手の強化を図るためには有効な事業であるが、( 公財 ) 射水市体育協会においても選手強化を図る類似の事業があることから統合することができないか検討が必要であるとする。						評価委員会のコメント		
	規模縮小									
	統合・連携									
	民間活用									
	負担適正化									
	やり方改善									
現行どおり										
拡充										

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費			
事業	事務事業名	スポーツ選手強化育成事業補助金				担当	教育委員会	
657	予算事業名	( スポーツ行事推進費 )				部名	生涯学習・スポーツ課	
						課名	生涯学習・スポーツ課	
						電話	5 9 8 0 9 3	
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )					判定	
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					×	
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。						
	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。						
有効性	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。						
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。					×	
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。						
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。						
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。						
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。						
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。					×	
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	有効性	効率性	総合評価 ( A ~ C )	評価結果		
		b やや適合	a 適合	b やや適合	B	事業の一部に見直しが必要		

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助	
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等	
		定額		算定方法	予算の範囲内で交付		
		定率					
		その他					
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目
	補助金等交付件数	6 件	7 件	5 件	8 件		なし ( 市単独補助 )
	補助金等交付額	900 千円	1,050 千円	750 千円	2,000 千円		国補助 ( % )
	うち一般財源	900 千円	1,050 千円	750 千円	2,000 千円		県補助 ( % )
交付団体状況	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制	項目
	交付先歳入決算額						
	補助金の占める割合						
	交付先歳出決算額						
	次年度繰越額						
	歳出に占める割合						
	団体構成員					法人会員数	
	会費負担					個人会員数	
事業目的	対象	射水市体育協会加盟団体、総合型地域スポーツクラブ、その他教育委員会が認めた団体					
	意図	市内スポーツ選手の強化及び技術力向上に期するため					
事業内容	手段	選手強化育成及び競技力向上に資する強化練習、遠征、合宿の実施					
	補助金等の受け実施する主な活動						

10	款	教育費	6	項	保健体育費	1	目	体育総務費			
事業	事務事業名	スポーツ大会出場激励金					担当部署	部名	教育委員会		
	658	予算事業名	( スポーツ強化育成費 )					課名	生涯学習・スポーツ課		
基本事項	事業期間	開始年度	平成 22 年度	終了年度			電話	59 8093			
	総合計画	施策の大綱	第 1 部 豊かな心を育み誰もが輝くまち					実施方法 (H26)			
		政策 ( 章 )	第 2 章 みんなが学び豊かな心を育むまちづくり								
		施策 ( 節 )	第 3 節 スポーツ・レクリエーションの推進								
根拠法令等	射水市スポーツ大会出場激励金交付要綱										
事業目的	対象	補助金等交付先	全国や国際大会に出場する選手・監督								
	意図	補助金等交付目的	全国や国際大会に出場する選手・監督を激励し、市民のスポーツの振興及び競技力の向上を図る。								
成果指標	事業目的 ( 意図 ) を達成する指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名				
		%	8.4	7.4	8.2	9.0	全国大会等 ( 国体、全国障害者大会、高校総体 ) 出場選手率 ( 射水市選手数 / 富山県選手数 )				
事業内容	手段	補助金等を受ける実施する活動	全国や国際大会出場								
		活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	指標名			
活動指標	補助金等交付件数	件	271	227	233	290	交付件数 ( 個人 )				
		件	17	12	11	8	交付件数 ( 団体 )				
備考	その他説明を要する事項										
事業コスト	項目 ( 単位 : 千円 )		H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事業コストに関する特記事項				
	直接事業費 ( 補助金等交付額 )		1,960	1,560	1,720	2,000					
	( 当初予算額 )	( 2,300 )	( 2,300 )	( 2,100 )							
	うち臨時職員人件費										
	財源内訳	国・県支出金									
地方債											
その他											
一般財源		1,960	1,560	1,720	2,000						
個別評価	評価項目		説明								
	妥当性 ( a ~ c )	a	激励金を交付することは、全国大会に出場する選手・監督へのお祝いと励ましの意を表すことから適当である。								
	有効性 ( a ~ c )	a	スポーツの推進並びに競技力の向上に資することから有効である。								
	効率性 ( a ~ c )	a	射水市スポーツ大会出場激励金交付要綱において、交付の対象となる大会、対象者、金額を定めていることから効率的に運用することができる。								
総合評価 ( 1 次評価 )	評価結果 ( A ~ C )	A	現行どおり事業を進めることが適当					評価結果 ( A ~ C )			
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					評価委員会のコメント				
	廃止・休止	全国や国際大会に出場する選手・監督を激励することにより、出場者の意識の高揚につながり、もって市民のスポーツの推進並びに競技力の向上が図られることから現行どおりとする。									
	規模縮小										
	統合・連携										
	民間活用										
	負担適正化										
	やり方改善										
現行どおり											
拡充											
総合評価 ( 2 次評価 )											

10 款	教育費	6 項	保健体育費	1 目	体育総務費				
事業	事務事業名	スポーツ大会出場激励金				担当	部名	教育委員会	
658	予算事業名	(スポーツ強化育成費)				課名	生涯学習・スポーツ課		
						電話	59 8093		
評価項目	評価の視点	内容(該当は、非該当は×) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない(妥当性をaとする)						判定	
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。							
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。							
	受益者・費用負担	事業内容(手段)の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。							
有効性	政策体系との整合性	事業の成果(意図)が、上位施策の目標達成に結びついている(貢献している)。							
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。							
	成果の向上余地	事業内容(手段)を工夫しても、成果を向上させる余地はない。							
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。							
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。							
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容(手段)の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。							
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。							
評価結果	個別評価(a~c)	妥当性	有効性	効率性	総合評価(A~C)	評価結果			
	a	適合	a	適合	a	A 現行どおり事業を進めることが適当			

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助	
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等	
		定額		射水市スポーツ大会出場激励金交付要綱に基づき交付 オリンピック(個人)100,000円、オリンピック以外の国際大会(個人)20,000円、国民体育大会等全国規模のスポーツ大会 個人5,000円、団体1人当たり5,000円(上限額50,000円) 市内の高校が団体出場する場合 30,000円と個人(市民)1人当たり5,000円			
	定率	算定方法					
	その他						
交付状況	項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27見込	特定財源	項目
	補助金等交付件数	288件	239件	244件	298件		なし(市単独補助)
	補助金等交付額	1,960千円	1,560千円	1,720千円	2,000千円		国補助( % )
	うち一般財源	1,960千円	1,560千円	1,720千円	2,000千円		県補助( % )
交付団体状況	項目	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	事務局体制	項目
	交付先歳入決算額						
	補助金の占める割合						
	交付先歳出決算額						
	次年度繰越額						
	歳出に占める割合						
	団体構成員						法人会員数
	会費負担						個人会員数
事業目的	対象	全国や国際大会に出場する選手・監督					
	意図	全国や国際大会に出場する選手・監督を激励し、市民のスポーツの振興及び競技力の向上を図る。					
事業内容	手段	補助金等の受け実施する活動 全国や国際大会出場					